

献呈のことば

岸本英八郎先生は、昭和57年3月31日をもって甲南大学教授を定年により退職されました。

先生は昭和30年4月に甲南大学助教授として着任され、その後、27年の長さにわたって本学に奉職されました。その間、当時わが国はもとより諸外国にも例をみなかった理学部経営理学科の開設に尽力され、かつ経営理学科とともに23年の歳月を歩まれました。同時に、経営学部の増設にも活躍されたのみならず、昭和35年から46年の11年間、経営学部をも兼担されました。さらに、電子計算室室長を9年の長さにわたり務められ、大学院社会科学研究所の開設、とりわけ特色のある経営学専攻の設置に力をつくされました。先生の御功績は真に枚挙にいとまがありません。この御尽力に対して、このたび甲南大学は名誉教授の称号を授与致しました。

先生の御研究は、コンピュータを主体とする情報処理技術によって経営組織体の管理情報システムを形成する研究に、内外の研究者に先んじて着手され、この方面の権威者となられました。社会的にも、通産省のオートション委員会の委員をはじめ、数多くの委員を歴任、現在も情報処理学会関係の委員として活躍されています。

このたび、経営学会においては、先生の御在職中の御功績を讃え、多年にわたる御指導を感謝するために、ここに本号を先生の退職記念号として発刊することになりました。

先生の今後の御健康と、ますますの御活躍を祈念しむすびとします。

(経営学会会長 山中 均之)